

製品名: PACSIN3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21225**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,FC 1:100-1:300,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW::Observed MW:47kD

抗原情報

遺伝子名	PACSIN3
別名	PACSIN3;Protein kinase C and casein kinase substrate in neurons protein 3 ;SH3 domain-containing protein 6511;
遺伝子 ID	29763.0
SwissProt ID	Q9UKS6
免疫原	ヒト PACSIN3 の合成ペプチド

背景

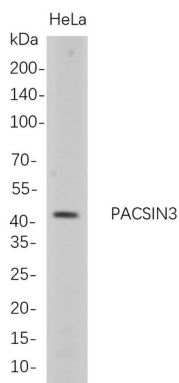
細胞局在: 細胞質。細胞膜; 膜タンパク質; 細胞質側。注記: 筋管の細胞膜内側部に検出される...この遺伝子は、プロテインキナーゼ

Cおよびニューロンにおけるカゼインキナーゼ基質ファミリーのメンバーである。コードされているタンパク質は、アクチン細胞骨格と小胞形成を結びつける役割を担っている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2010年5月]

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを抗 PACSIN3 ウサギモノクローナル抗体でプロットングした。抗体の検出には、HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。